

平成 27 年度  
豊中市立環境交流センター  
事業報告書

特定非営利活動法人  
とよなか市民環境会議アジェンダ 21

## <目次>

1. 全体のまとめ	2
2. 施設の維持管理・運営体制	3
3. 管理運営業務の実施状況	7
4. 施設の利用状況	38
5. 指定管理業務に係る経費の収支状況	41
6. 自主事業の実施状況	43
7. 自主事業の経費の収支状況	46

### 【報告書内の表記について】

- ・参加者数に当団体の職員は含んでいません（注釈のある場合を除く）。
- ・当団体の会員とは、当団体で活動するボランティアの市民を意味しています。
- ・「3. 管理運営業務の実施状況」内の丸番号は、事業計画時の丸番号と一致しています。  
そのため、事業計画に記載のなかった内容は、○としています。
- ・「6. 自主事業の実施状況」内の丸番号は、事業計画時の丸番号と一致していません。
- ・当団体の会計報告は、NPO法の改正に伴い、活動決算書（活動計算書）となっているため、自主事業の経費の収支状況はそれに従って記載しています。
- ・ただし、指定管理業務の経費の収支状況は、表題から当団体の活動計算書と意味が異なるため、収支決算書と記載しています。

## 1. 全体のまとめ

環境交流センター（以下、「施設」という）は、平成 27 年度（2015 年度）も引き続き、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21（以下、「当団体」という）が指定管理者として運営を担いました。

当団体は、「豊中市環境基本計画」と車の両輪のように位置づけられている、地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画「豊中アジェンダ 21」を推進する組織として、豊中市域における持続可能な地域の実現をめざして、市民が主体となり、行政・事業者と連携して活動を行っています。施設の事業目的は、当団体が推進する「豊中アジェンダ 21」の内容と一致するところであり、施設の運営を通して、「豊中市環境基本計画」と「豊中アジェンダ 21」が共有する「望ましい環境像」の実現、および「豊中アジェンダ 21」の 88 項目の行動提案の達成をめざして、施設の管理・運営を行ってきました。

実施に際しては、リサイクル交流センターと環境情報サロンの機能統合という経過を踏まえ、市民や市民団体の集う場（環境プラットフォーム）として、市民が参加・参画した形での運営を行いました。さらに、環境活動に関心のある市民はもとより、環境問題に関心のない市民も気軽に立ち寄ることのできる場づくりの実施、および、多様な分野との連携もめざしました。施設の事業の一部は、当団体の各部会・プロジェクトのメンバー（ボランティアの市民）が中心となって企画・実施を行い、市民が市民に対して普及・啓発を行いました。

平成 27 年度の事業全体として、評価目標である来場者数は、10,000 人という目標値に対し、17,545 人の来場者を達成することができました。また、自然観察会、農体験・菜園支援などの施設外での取り組みに対し、6,987 人の参加があり、施設の事業を通して、合計で延べ 24,532 人に対して、周知を行うことができたと考えます。これは、目標値に対して 1.7 倍以上の来場者、事業を通じた合計では 2.4 倍以上の延べ参加者を獲得できたこととなります。また、昨年度の前年と比較して、来場者数 15,493 人、事業を通じた延べ参加者 22,034 人と比べても、それぞれ 2,052 人、2,498 人の増加となりました。

一方、環境関連施設では近年、来場者の量と質の問題が取りざたされ、来場者数増加に伴う施設の目的の希薄化が課題となってきています。当施設でも当団体が運営を開始してから来場者数は飛躍的に増加しましたが、市民とともに創る施設という目的に対して職員が注力する時間がない、また、実施した事業を評価・検証する時間がないという課題が見えてきました。そこで、今までの事業の仕組みや内容を整理し、その分、来場者対応や施設の現状の改善、成果の把握に力を入れることで、来場者とともにある施設運営を心がけました。具体的には、ファンクラブメンバー制度について、当団体の担当理事会で議論を重ねて、ファンクラブメンバーを環境活動の担い手へと導く方向性を明確にし、また、陶器とりかえコーナーに持ち込まれる陶器の計量とヒアリングを赤ちゃんからの ESD と協働で実施し、月に約 100kg の陶器が循環し、ごみの減量に寄与しているという成果を得ました。

事業としては、来場者がまた訪れたいような、親しみやすく・利用しやすい、環境への視野が広がるような改善・発展をめざして取り組みました。具体的には、豊中市小売商業団体連合会と連携した「地域こだわりマルシェ&野菜市場」の開催、キッズコーナーの取り組みの一環として電気を使わないエコゲームの貸出しや、エコゲームを使った企画などを新たに実施しました。また、来場者や出店希望者が増加しているリユースバザーの開催回数を増やしました。

さらに、施設のさらなる展開をめざして、平成 27 年度は施設外での取り組みも増えました。具体的には、池田エコミュージアムでのパネル展、森林 ESD の行事におけるぴったんこ隊の発表といった近隣の行政や環境団体との交流や、大阪大学環境サークル GECS のイベント協力といった大学生の環境活動の支援などがあげられます。

今後は、ファンクラブ制度の仕組みや施設のデザインについて、施設の利用者とともに考え、それらの実施を通して、施設利用者が施設や地域の担い手となっていくことをめざすといった、施設運営の質的な向上にさらに努めていくことが考えられます。

## 2. 施設の維持管理・運営体制

### (1) 施設概要

- ・施設名 豊中市立環境交流センター
- ・所在地 豊中市中桜塚1丁目24番20号
- ・施設規模 床面積 658.97 m<sup>2</sup>
- ・開館時間 9時～17時
- ・休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）  
12月29日～1月3日
- ・貸室区分 9時～12時、13時～17時
- ・受付開始 目的利用：使用日3ヵ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）  
目的外利用：使用日1ヵ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
- ・貸室 会議室1、会議室2、展示スペース（会議室1はABCの3つに分けることができる）
- ・その他 4月1日から貸室の使用承認申込書の書式を改善したものを使用

### (2) 内規の整備

施設の運営や事業に関連して、内規の整備を行いました。

[整備した内規]

- ・「豊中市立環境交流センターファンクラブメンバー制度の運用に係る内規」（平成28年2月1日から実施）

### (3) 運営体制

#### ①職員

総括責任者1人、職務代理者2人（常勤3人）、非常勤2人の計5人で施設運営にあたりました。

#### ②担当理事

施設の運営と当団体の活動がうまくリンクするため、および、運営に関する当団体の意思決定を円滑に進めるため、当団体理事の中から担当理事7人（理事職の総括責任者含む）を選出し、担当理事会を6回開催しました。

月日	5月26日（火）	7月8日（水）	10月21日（水）	
参加者数	6人	7人	8人	
月日	12月2日（水）	1月13日（水）	3月2日（水）	合計
参加者数	7人	5人	5人	38人

※参加者数には同席した当団体職員も含む

#### ③研修の実施

職員の能力向上、および施設運営に必要な知識を得るため、研修の参加・実施を行いました。

日時	内容	主催	参加者数
4月21日（火） 14:00～15:00	改正不正競争防止法対策セミナーin神戸	リコージャパン（株）	1人
6月29日（月） 9:00～10:00	消防訓練	環境交流センター	4人

8月27日(木) 9:15~12:30	エコゲーム研修 (講師:あそび文化研究所所長 畑直樹さん)	環境交流センター	2人
9月29日(木) 13:15~17:00	エコゲーム研修 (講師:あそび文化研究所所長 畑直樹さん)	環境交流センター	3人
10月13日(火) 16:20~17:40	マイナンバー直前対策!導入ステップの最終チェックと番号収集・保管の短期実現手法	(株)オービックビジネスコンサルタント	1人
10月30日(金) 15:00~17:00	平成27年度人権問題事業者学習会	豊中市	2人
11月11日(水) 13:30~14:30	Value Presentation2015 どないしよ...マイナンバーがやってくる!	リコージャパン(株)	1人
11月11日(水) 15:10~16:10	Value Presentation2015 ストレスチェック義務化に向けた実務ポイントと企業の留意点	リコージャパン(株)	1人
12月17日(木) 16:00~17:00	消防訓練	環境交流センター	3人
1月8日(金) 9:30~11:30	平成27年度債権管理担当職員研修「これだけは知っておきたい電話対応ノウハウ」	豊中市	2人
1月21日(木) 14:00~16:00	女性活躍推進セミナー	豊中市	1人
2月1日(月) 9:30~11:30	研修計画ワークショップ(研修計画の作成に向けた内部での研修)	環境交流センター	4人
3月6日(日) 10:00~16:00	広報研修(環境コミュニケーション講座(ポスター制作)を職員研修に位置づけ)	環境交流センター	2人
合計	13回		27人

※施設運営にあたった当団体職員(5人)のうちの参加人数

#### ④職員面談

次年度の職員体制に向けて、職員の勤務状況や現状の課題などを確認するため、当団体の理事長、事務局長との個別面談を実施しました。

実施期間:2月17日(水)~3月30日(水)

#### (4) 運営会議

業務の状況報告やモニタリング、管理運営の検討などを行うため、当団体職員と環境政策室で運営会議を毎月実施しました。

月日	当団体	環境政策課	その他
4月21日(火)	3人	4人	
5月26日(火)	2人	3人	
6月17日(水)	2人	3人	
7月23日(木)	2人	2人	
8月20日(木)	2人	3人	インターンシップ生2人
9月16日(水)	2人	2人	
10月21日(水)	2人	2人	
11月18日(水)	2人	2人	
12月16日(水)	2人	3人	

1月26日(火)	2人	2人	
2月24日(水)	2人	2人	
3月16日(水)	2人	2人	

### (5) 来場者アンケート

施設利用者に対するサービス改善、および指定管理者のモニタリング事項として、来場者アンケートを実施しました。結果については、別途提出した報告書の通りです。

- ・期間：2月2日(火)～20日(土)
- ・対象：施設に来場した高校生以上の方
- ・回収数：108枚(目標数100枚)
- ・実施方法：受付への設置、および来場者への配布
- ・その他：回答者の中から抽選で10人に図書カード(500円)を進呈  
中学生以下を対象に、簡易なこどもアンケートもあわせて実施  
(こどもアンケートは22枚回収、回答者全員に粗品(文房具)を進呈)

### (6) 設備点検・維持、および修繕

#### ①設備の点検・維持(定期)

- ・床のワックスがけ(年3回)
- ・空調設備の点検(年4回)…業者による点検2回、職員による簡易点検2回
- ・自動扉の点検(年4回)
- ・消防設備の点検(年2回)
- ・施設屋根の点検(年2回)…空調設備の簡易点検とあわせて実施

#### ②設備や備品の修繕・追加

月日	内容
6月30日(火)	AEDのパッド交換(期限切れに伴うもの)
9月30日(水)	男子トイレの個室(一室)が紙詰まりの修繕 (9月26日(土)～30日(水)は使用中止の措置)
12月16日(水) ～18日(金)	施設前の側溝から下水管へ流れる柵のところで、日常的に犬の糞やビニール袋が下水管に直接落とすように捨てられており、排水の詰まりなどを引き起こす可能性もあることから、豊中市と協議し、注意の看板設置や柵の目を細かいものに交換
3月18日(金)	図書資料室の誘導灯の1つについて、バッテリー容量切れを交換

#### ③施設の維持

月日	内容
4月21日(火)	裏庭の枝の剪定
5月22日(金)	裏庭の草抜き
8月22日(土)	施設前のタイル清掃
9月12日(土)、13日(日)	裏庭の草抜き
2月11日(祝)	施設前のタイル清掃

## (7) 安全管理対策の状況

### ①安全管理マニュアル

当団体の職員、および会員が生命身体に危険を及ぼす可能性のある作業を行う際の留意事項をまとめた「安全管理マニュアル」を作成・提出しました。同マニュアルは、当団体の職員全員、および該当する会員に配布するとともに、施設の事務室や倉庫などの目立つ場所に掲示しました。

なお、安全管理マニュアルに該当する作業による怪我や事故はありませんでした。

### ②緊急時のマニュアル

急病・けが、交通事故、地震、不審者・不審物、火災、警報といった緊急時の対応をまとめたマニュアルを整備しています。

なお、平成 27 年度中に関連する対応が 1 件ありました。

月日	区分	内容	対応
6 月 14 日 (日)	交通事故	駐輪場前にて、施設利用者(加害者)の車と、施設前を自転車で通行していた男性(被害者)との接触事故	発見時に事故処理が進んでいたため、状況の把握のみ実施 また、後日に注意を呼びかけるチラシの配布や飛出し注意の看板設置を実施

### ③賠償責任保険、行事保険

施設の来場者への責任を果たすため、賠償責任保険に加入しました。また、屋外・施設外で実施するイベントのうち、参加者が怪我する可能性があると思われる行事に対し、行事保険に加入しました。

なお、平成 27 年度中にいずれの保険も執行はありませんでした。

## (8) クレーム・課題点

施設運営の中で、利用者から寄せられたクレームについて、適切に対応・改善しました。

月日	内容	対応
7 月 4 日 (土)	6 月 6 日 (土) リユースバザー、マルシェ&野菜市場で不親切な対応をされた(施設へ FAX で寄せられた)	7 月 11 日 (土) に相手方と電話で状況確認 その後、関係者と事実確認 8 月 28 日 (金) に FAX にて回答(相手方が FAX を希望)

## (9) 指定管理者選定評価委員会への協力

豊中市が実施する指定管理者選定評価委員会に対して、以下の対応を行いました。

月日	内容
7 月 16 日 (木)	書類審査のため提出が必要な書類について、豊中市から説明を受ける
7 月 29 日 (水)	書類審査のため必要な書類を豊中市へ提出
8 月 4 日 (火)	社会保険労務士による労務書類事前確認に対して、追加資料の提出
8 月 27 日 (木)	面接審査の手順、審査範囲、追加資料の提出について、豊中市と確認
9 月 15 日 (火)	面接審査でのプレゼンテーション、質疑応答
11 月 25 日 (水)	評価結果報告書について、豊中市から説明を受ける
12 月以降	評価結果報告書の改善すべき点について検討・対応

### 3. 管理運営業務の実施状況

#### (1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供

施設は日常的に人が訪れて、交流し、にぎわいがある場となることをめざして、日常的な取組み、行事など特定の日の取組みを複合的に実施し、多様な場づくりを行いました。

##### ①陶器とりかえコーナー

家庭で使わなくなった陶器を回収・展示し、希望する来場者が自由に持ち帰ることができるようにしました。赤ちゃんからの ESD が実施している「陶器とりかえ隊」の常設コーナーとして、当団体が日常的な管理や、とりかえの対応を行いました。

また、どれだけの陶器が循環したかを調査するため、7～9月の3ヵ月間、持ち込まれた陶器の計量やアンケート（ヒアリング）を行うとともに、10月23日（金）に赤ちゃんからの ESD からのヒアリングに対応し、陶器とりかえコーナーの環境教育的側面の意義と成果を整理しました。

##### <成果や工夫したこと>

- ・陶器の計量の結果、持ち込み量も持ち帰り量も3ヵ月間で約371kg、持ち込みのリピーターが約7割という、日々の取組みの成果を定量的に把握しました。
- ・調査結果は、環境交流センターのお知らせと、とよなか市民環境展で報告しました。
- ・陶器の調査を受け、持ちこみが多いコレールの受け入れ開始、施設では受け入れられないガラス製品の受け取り先（他施設）の情報収集と提供、陶器持ち帰り者へのアンケート項目の見直しを行いました。

##### <これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・調査結果の活用やコーナーの意義の恒常的な周知方法を検討します。
- ・来場者の利用頻度が高いコーナーであるため、現在の設置場所や表示内容が適切であるか、あらためて検討していきます。

##### ②ファンクラブ制度の運用

平成26年4月から、施設に愛着を感じ、施設を応援してもらうファンクラブ制度の運用を開始しました。施設の取組みに協力していただける市民の方を登録し、メンバー証の発行、メールマガジンの配信、メンバー限定特典の提供などを行いました。平成26年度末の登録者数208人に、平成27年度の新規登録と退会をあわせて、平成27年度末の登録者数は312人でした。

また、ファンクラブ制度は、施設に来場してもらう入り口として開始したが、今後は「施設でのボランティア」、その後「地域でのボランティア」といった形でステップアップしてもらい、豊中での環境活動の裾野を広げていこうという整理をした。一方、アジェンダの会員は、すでに地域で環境活動に取り組んでおり、こうした裾野を広げる対象とは異なるため、ファンクラブの登録から除外することとし、1月31日付で退会の措置を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規登録	16	19	19	6	12	4	10	4	7	2	9	18	126人
退会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1	0	22人

##### 【メールマガジンの配信数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
配信数	132	144	157	160	167	168	173	175	179	162	162	168

※2月分は3月4日に配信



【ファンクラブ対象の行事】

日時	内容	参加者数
3月12日（土）13:00～16:00	ファンクラブ交流会	48人

※参加者数は当団体の会員や市職員を含む

＜成果や工夫したこと＞

- ・団体内で議論を重ねて、ファンクラブ制度における当団体会員の位置づけを整理しました。
- ・ファンクラブに入会しやすくするため、ファンクラブの仕組みと図書の貸出を分けて、身分証の提示を必須から任意に変更することとしました（平成28年度から運営開始の予定）。
- ・ファンクラブ交流会では、ファンクラブメンバーがクラブの仕組み作りに参画できる場を設けていくことに先駆け、その試行として、子ども、大人5つのグループに分かれて、施設の課題や方向性に対するアイデアを出すワークショップを行いました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・ファンクラブメンバーが施設の運営や仕組みづくりに関わっていくための場を作ります。

③ポイントカードの配布

ファンクラブメンバーを対象にポイントカードを配布し、施設の利用や行事の参加などに応じてポイントを付与しました。ポイントがすべて埋まり、景品と引換えを行ったカードは4枚でした。また、ポイントがすべて埋まったものの、まだ引換えを行っていないカード（ファンクラブメンバーが所有）が少なくとも4枚確認されています。

＜成果や工夫したこと＞

- ・ポイントカードの存在を知る来場者も少しずつ増え、ポイントカードが来場のインセンティブになりつつあります。
- ・2種類に分かれているポイントの統合や、ポイントをためた後、抽選ではなく全員に景品を進呈することなど、大まかな改善の方針を決めることができました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・ポイントカードの詳細な改善は、平成28年度にファンクラブメンバーとともに行っていきます。

④フリースペース・キッズコーナー

展示スペースにテーブル・イスを設置して貸室利用がない時に予約なしに利用できるフリースペースと、子どもが靴を脱いで遊べるスペース（キッズコーナー）を設けました。

平成27年度は、電気を使わないおもちゃ（エコゲーム）を導入し、ファンクラブメンバーを対象に施設内での貸出しを開始（4月24日から）し、年間で75回の利用がありました。

また、おもちゃを使った企画を実施するとともに、来場者のおもちゃの利用をサポートするメンバーの育成を検討・試行しました。

日時	内容	講師	参加者数
4月25日（土）10:00～16:00	世界のエコなおもちゃで遊ぼう	畑直樹さん（あそび文化研究所所長）	18人
7月25日（土）10:00～16:00	エコゲームリーダー養成講座		6人
7月25日（土）13:00～14:30	世界のエコゲームで遊ぼう		10人
8月29日（土）10:00～16:00	世界のエコゲームで遊ぼう		12人
合計	4回		46人

※参加者数は講師を含む

<成果や工夫したこと>

- ・フリースペースやキッズコーナーが定着し、利用者が増加しました。
- ・平成 26 年度のファンクラブ交流会でエコゲームを試行したことを受けて、施設内でのゲーム貸出しにつなげることができました。
- ・さらに、新たな試みとして、エコゲームを使った企画や、養成講座を実施できました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・利用者が増えたことで、共有空間をどのように互いに気持ちよく利用していくかを、子どもを含む利用者とともに考えていく必要があります。
- ・エコゲームを使った企画は、日本では先駆的であり、多くの人に内容を理解してもらうには、広報先や伝え方にさらなる工夫が必要です。

⑤回収拠点

リユース・リサイクルのための回収拠点として、以下の物品を回収しました。なお、平成 27 年度途中から、新たに使用済み小型家電の回収が増えました。

回収品	対象	対応
ペットボトル	主に他へ提供する物品	豊中市の委託先が週 1 回程度回収
インクカートリッジ		豊中市のインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして実施 8 月 28 日（金）に 1 箱分を所定の回収先へ送付
使用済み小型家電		豊中市が週 1 回程度回収（1 月 5 日（火）から）
ベルマーク		回収のみ実施 3 月 15 日（火）に回収したベルマークを克明小学校 PTA に寄付
古本		回収がなかった 一定量が集まった時点で「本でも eco HAPPY BOOKS プロジェクト」に寄付する予定
傘	主に当施設で活用する物品	貸し傘用として利用 9 月 6 日（日）、10 月 9 日（金）に連携先のそね 21 の会へ提供
使用済み磁気カード	主に当団体で活用する物品	回収のみ実施 一定量が集まった時点で専門業者へ売却を行う予定 （売却ができなかった場合、他団体へ提供する）
使用済み切手		回収のみ実施 現時点で未使用だが、当団体で運営に活用する予定
未使用切手		提供がなかった （書き損じはがきなどを提供された場合、官製はがきや切手に変えて、当団体で運営に活用する予定）
はがき		

<成果や工夫したこと>

- ・回収した傘は地元の団体へ複数回提供し、貸し傘としての連携の充実につながり、同じ団体との講座開催やイベント開催の連携強化につながっています。
- ・ベルマークは施設の利用者の協力を得て、近隣の小学校へ初めて提供することができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・古本、使用済み磁気カード、切手、はがきは、回収が限られている、または、他への提供が確立されていないため、今後の回収と提供のあり方について検討していきます。

## ⑥パソコンの設置

ロビーにパソコン1台を設置し、来場者がインターネット検索や資料作成、ポスター出力の際などに利用できるようにしました。また、大型プリンターの出力の際も利用しました。

なお、パソコンを長時間利用する方がいるため、3月からは利用時間を45分と制限する表示を行い、日常的に利用する方に対して周知を行いました。

### <成果や工夫したこと>

- ・日常的に利用する来場者がおり、パソコンの活用が図られている一方で、特定の個人の占有となるため、利用時間を設けるなど、緩やかなルールを設定し、改善に努めました。

### <これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・子どもたちの調べ学習や、貸室利用者が会議やイベントの途中での調べものなどに活用できるよう、周知や誘導していくことが必要です。
- ・パソコンの利用は環境目的に限っていますが、環境目的以外に使われている場合もあります。利用目的は自主申告のため、適切な利用をしていただくための対処を検討します。

## ⑦コピー、大型プリンター、印刷機の利用

来場者がコピーやポスターの出力をできるようにすることで、打合せや貸室などの利用を促進するとともに、活動の一環で作成したパネルや横断幕などの出力をサポートしました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
コピー	5	6	8	8	4	6	7	6	5	4	6	7	72件
大型プリンタ	8	4	8	7	7	3	14	6	8	3	7	7	82件
印刷機	1	3	2	2	0	2	1	2	3	3	2	3	24件

※各月の数字は利用件数

### <成果や工夫したこと>

- ・大型プリンターは地域の店舗に多く利用され、印刷機は他の公共施設に活動拠点を持たない団体などを中心に利用されたため、大型プリンターと印刷機の利用件数は大幅に増加しました。
- ・コピーは貸室利用者が会議やイベント中に利用するケースも多く、貸室の利便性向上に寄与しました。

### <これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・印刷機は1製版に上限がないため、他の公共施設と比べてかなり安価になる場合があり、適切な料金体系になるよう検討します。

## ⑧打合せなどに伴う物品の貸出し

ロビーや会議室で打合せや作業を行う際、円滑に進めることができるように、関連する物品などを提供しました。傘は「貸し傘」として「そね21の会」と連携して取り組みました。

- ・はさみ
- ・穴あけパンチ
- ・ラミネーター（ラミネートフィルムは希望者に有料）
- ・裁断機
- ・リユースカップ（会議室の利用時など）
- ・傘（貸し傘）

### <成果や工夫したこと>

- ・ラミネーター、リユースカップ、傘などの貸出しが少し増加しました。

### <これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・貸出し物品について、掲示や声掛けなどにより利用者が少し増加したものの、まだ、周知にまで至っていないので、必要な人に周知できるような工夫が必要です。

### ⑨飲食物の提供

来場者が気軽に利用できるように、希望者に対して飲料やおやつなどを有料で提供しました。また、この飲食物の提供を通して、食べ物や飲み物といった身近なものから環境について考えてもらう機会としました。提供に際しては環境への配慮したもの、豊中のものとし、平成 27 年度からは、コーヒーをフェアトレードのものに変更しました。

種類	提供内容
冷たい飲料	リターナブル瓶入りの飲料 大和茶とわ（緑茶）、ジンジャエール、オレンジジュース
温かい飲料	リユースカップを使ったセルフサービス フェアトレードコーヒー、紅茶、抹茶ラテ、キャラメルマキアートなど
おやつ	とよなかおやつ宣言のおやつ（不定期入れ替え）

#### <成果や工夫したこと>

- ・大和茶とわは、市環境部の審議会などで委員への提供を開始し、利用の範囲が広がりました。
- ・自動販売機での購入を求めている来場者にもリターナブル瓶を案内し、貸室利用者用の飲料 PR のプリントを作るなど、環境に配慮した飲料の利用が広がるように積極的に PR しました。

#### <これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・おやつは、来場者の購入にムラがあり、また、豊中市小売商業団体連合会による不定期入れ替えのため、売り切れや売れ残りなどが起きています。希望する来場者に対して、安定した提供ができるように方策を考える必要があります。

### ⑩わいわいクラブ（リサイクル工作教室）

不用品や家庭で余った材料を利用し、暮らしを便利にするような手芸・工作などを行いました。

日時	内容	講師	参加者数
5月27日（水） 13:00～15:00	着物地で花の針山づくり	そね 21 の会レディース	25 人
8月22日（土） 13:00～15:30	紙すきではがき作り	NPO 法人 ZUTTO 若者居場所工房ぐーてん	31 人
11月11日（水） 10:00～12:00	牛乳パックでカードケース作り	畑洋子さん	11 人
12月10日（木） 13:00～15:30	手のひらサイズのお針箱	そね 21 の会レディース	18 人
1月28日（木） 13:00～15:00	サンキューカードを作ろう	サークルキララ	4 人
2月23日（火） 13:30～15:30	はぎれでジュゴンのマスコット作り	ジュゴン保護キャンペーンセンター	6 人
3月17日（木） 13:00～15:30	ちょっと便利なバッグインバッグ	そね 21 の会レディース	19 人
合計	7 回		114 人

※参加者数は当団体の会員や講師を含む

※11月11日は当団体の生活部会が実施

<成果や工夫したこと>

- ・来場者からのニーズが高く、年度計画よりも1回多く実施しました。
- ・施設の利用者や地域で活動する団体を講師とし、工作の内容を相談して進めることができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・内容によって参加者の多い／少ないが大きく、内容の設定や広報についての検証が必要です。

⑪リユースバザー、手しごと市・古本市

参加する市民を募集し、家庭で使わなくなった衣服や生活用品を安く販売するリユースバザーを開催しました。リユースバザーは、豊中産の野菜頒布などと一緒に実施することで集客を確保するとともに、出店者の意見を踏まえて、実施方法を少しずつ改善・変更して進めました。

また、手しごと市・古本市を開催し、オーガニックや手づくりの物品、古本などを販売します。物品を販売する市民団体や個人を集めて、参加者の交流の機会を設けるとともに、コンサートの開催や、まちづくり・福祉・国際といった他分野の団体との連携・交流をはかります。

【リユースバザー】

日時	参加者数	備考
6月6日（土）10:00～13:00	188人	
9月5日（土）10:15～13:00	179人	省エネ相談会を同時開催
12月5日（土）10:15～13:00	221人	古本市を同時開催
3月5日（土）10:15～13:00	232人	
合計	820人	

※出店者数はいずれも15店

※地域こだわりマルシェ&野菜市場と同時開催のため、マルシェの参加者を含む

<成果や工夫したこと>

- ・リユースバザーは、出店者・来場者の声を聞き、開始時間や出店者の名札の着用、販売できる物品など、毎回少しずつ改善しながら開催しました。
- ・出店者・来場者の両方からの問合せも多く、実施回数を1回増やし、開催日を固定しました。参加者も増え続けています。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・出店希望者が増加し続けており、受付時に来場したものの、抽選で落選する人も多くなっています。今後の開催頻度、募集数、受付方法などについても、改善を検討する必要があります。
- ・駐輪場に停めきれないくらいの台数の自転車・バイクがやってくるため、対処の方法を検討する必要があります。

【手しごと市・古本市】

日時	内容	参加者数
8月9日（日）13:30～16:30	リユース手しごと市とエココンサート	74人
1月31日（日）13:00～16:00		188人
合計	2回	262人

※参加者数は出店者を含む

<成果や工夫したこと>

- ・リユース手しごと市は、出店者をファンクラブメンバーに限定し、また、広報、前日準備、片付け、ふりかえりを一緒に行うことで、目的を共有した多様な団体とともに場を作りました。
- ・過去のふりかえりでは、感想や告知が主でしたが、実施時期や時間帯についても話し合いを行うことができて、今後の運営に活かしていくという流れをつくることができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・8月の開催は参加者数が非常に少なかったため、開催時期や広報手段について、今後検討していくことが必要です。

⑫リユースコーナー

豊中市伊丹市クリーンランドの提供による小型家具について展示・抽選を行い、3Rの促進と啓発を行いました。

展示期間	内容	応募数
6月10日（水）～ 7月11日（土）	クリーンランドから小型の家具など（10点） 抽選会 7月11日（土）15:00～	10点すべてに47件

<成果や工夫したこと>

- ・展示する物品の種類について、過去の来場者の応募傾向をもとに、クリーンランドへ事前に希望を伝えたことにより、3年目で初めて展示した物品すべてに応募がありました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・運搬できる物品の量や、クリーンランドが提供できる頻度が限られているため、来場者のニーズは高いものの、1年に1回のみに対応となっています。

⑬修理体験講座

モノを長く使ってもらうため、自分で修理などができるような物品をテーマに講座を開催しました。

日時	内容	講師	参加者数
6月28日（日） 13:00～16:30	ジーンズ・刺し子・ワークショップ	ていれとつくろい	7人
8月22日（土） 10:00～12:00	自転車の修理を学ぼう	葭田明弘さん（葭田自転車）	8人
合計	2回		15人

※参加者数は講師を含む

※自転車の修理を学ぼうは7月18日（土）を予定していたが警報発令のため延期

<成果や工夫したこと>

- ・ジーンズの刺し子をテーマに、修理というよりもアートという視点を取り入れ、今までにない層の参加につながりました。また、衣服の製造から廃棄までに起こる環境問題について伝え、個人の消費と環境のつながりについて知ってもらう機会としました。
- ・自転車は、当初の開催日に警報が発令され、延期としましたが、申込者にこまめに連絡対応を行い、延期後でも一定の参加者を得ることができました。
- ・自転車は、安全に乗り続けるための日常の自己点検のポイントや、交通ルールの紹介も行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・修理のテーマや講師を見つけるのが難しく、新たなテーマでの開催をさらに検討することが必要です。

⑭自然工作教室

豊中産の自然素材（竹や小枝など）を使って、自然工作教室を開催しました。

日時	内容	講師	参加者数
8月21日（金）13:30～15:00	竹の水てっぽう	当団体の自然部会・	40人
12月19日（土）10:00～11:30	クリスマスのリースを作ろう	竹炭プロジェクトの	26人
3月25日（金）10:00～11:30	豊中の竹で小鳥の置物作り	メンバー	30人
合計	3回		96人

※参加者数は当団体の会員を含む

<成果や工夫したこと>

- ・水てっぽうなどは、申込みが多数となったため、当初の定員よりも多く受け入れました。
- ・工作の材料は豊中市内の雑木林の保全活動により得たもので、3回で10種類の植物を用いました。参加者に植物の名前や特徴を紹介し、豊中の自然環境に対する理解へとつなげました。
- ・参加者アンケートに工具体験の希望があったことを受けて、のこぎりで竹を切る体験を、一部の回で行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・小鳥の置物作りなど、タイトルだけではわかりづらい作品については、チラシに写真を載せるとか施設に見本を置くといった「見える化」を工夫していくことが必要です。

⑮おもちゃ病院

とよなか・おもちゃ病院と連携し、モノを長く使ってもらうため、壊れたおもちゃを修理する場を作りました。その場で修理できなかったおもちゃは、入院として一時預かりを行い、とよなか・おもちゃ病院が修理後、持ち込んだ方へお返ししました。

月日	4月11日	6月13日	8月8日	10月10日	12月12日	2月13日	合計
参加者数	44人	38人	23人	34人	19人	37人	195人

※いずれも土曜で、4・6月は10:00～12:00、8月以降は10:00～11:30

※参加者数は講師を含む

<成果や工夫したこと>

- ・おもちゃの持込みが多く、終了時刻の12時を大きく越えることが多かったため、8月開催分からは受付を11時30分までとし、実質的に12時頃までの対応となるように変更しました。
- ・来場者がおもちゃの受付や修理を待っている時間を活用し、施設のチラシ配布や来場者アンケートの協力などを行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・開催中に修理できなかったおもちゃは一時預かり、後日に施設へ取りに来てもらう形で返却していますが、修理不能という連絡をした参加者の中にはおもちゃをなかなか取りに来られない場合があり、繰り返しの連絡を行うことが必要となっています。

⑯おはなし会「わにわに」

環境に気軽に親んでもらうこと、環境の施設に気軽に来てもらうことを目的に、乳幼児と保護者を対象とした絵本の読み聞かせを開催しました。読み聞かせとあわせて、簡単な手づくり工作も行い、環境活動に親んでもらう機会としました。

月日	5月30日(土)	7月5日(日)	9月27日(日)	12月20日(日)	3月12日(土)	合計
参加者数	31人	22人	27人	14人	11人	105人

※いずれも 10:30～11:30 で実施

※当団体の企画屋本舗プロジェクトが実施（参加者数は企画屋本舗の担当者を含む）

<成果や工夫したこと>

- ・乳幼児と保護者が気軽に参加できる場づくりを心がけており、普段の来場者とは異なる層の利用につながりました。当日の気象条件などにもよりますが、参加者も定着しつつあります。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・開催日が定例でないため、次回開催に関する問合せが多くなっています。
- ・キッズスペースを利用していますが、参加者が多い時は、既存のスペースでは足りない状況です。
- ・参加した親子同士の交流をめざしているものの、現段階で交流にまでは至っていません。
- ・小学生の参加につながるようなおはなし会の検討も必要です。

#### ⑰地域こだわりマルシェ&野菜市場

地産地消および循環型社会の推進のため、とよっぴーで育てた豊中産の野菜などを頒布しました。また、「豊中市小売商業団体連合会」と連携し、環境や健康に配慮し、こだわりを持って地域で商いをしているお店の商品も販売しました。

月日	4月4日	5月2日	6月6日	7月4日	8月1日	9月5日	
参加者数	65人	118人	188人	91人	40人	179人	
月日	10月3日	11月7日	12月5日	1月9日	2月6日	3月5日	合計
参加者数	66人	87人	221人	56人	63人	232人	1,406人

※参加者数は頒布・販売のスタッフを含む

※6、9、12、3月はリユースバザーと同時開催のため、バザーの参加者を含む

※いずれも土曜で、12月までは10:00～12:00、1月以降は10:00～11:30

<成果や工夫したこと>

- ・野菜の購入についての参加者からのクレームを受けて、8月開催分からは開始30分前から野菜購入希望者へ整理券の配布を開始しました。
- ・平成27年度からは小売商業団体連合会の加盟店の商品も並ぶようになり、開催時の賑わいが広がりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・8月は豊中まつりと重なったため、出店者も参加者も他の回より大きく減少しました。
- ・販売の開始時間はとても多くの人で賑わう一方で、開催時間の後半は閑散とした雰囲気となるため、賑わいのある場のあり方を考えることが必要です。

#### ⑱省エネ相談会・省エネ診断の調査・研究

豊中市地球温暖化防止地域計画（改定）に基づき実施される省エネ相談会、省エネ診断と連携し、参加者募集や会場提供などを行いました。

月日	内容	参加者数
5月1日(金)～12月27日(日)	家電の省エネ診断・エネルギー「見える化」モニター募集	—
9月5日(土) 10:00～12:00	省エネ相談会の開催	20人



<成果や工夫したこと>

- ・家電の省エネ診断やエネルギー「見える化」モニターについては、申込受付だけでなく、他の行事のチラシとあわせて、来場者に積極的に配布しました。
- ・省エネ相談会は、来場者の多いリユースバザーと同時開催することにより、平成 27 年度よりも多い相談人数を得られました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・施設内での省エネ相談会で、より多くの方、これまでと違った方に参加してもらうことを検討しましたが、方向性を見出せなかったため、施設内での開催は 1 回だけに留まりました。

㊸夏休み子ども企画

小学生が気軽に環境に親しむ機会として企画をしました。平成 26 年度までは豊中市とも連携して実施していましたが、平成 27 年度は連携の有無を見直し、開催時期を春休みに変更して開催しました。

日時	内容	講師	参加者数
3 月 30 日（水） 10:00～12:00	春休み子ども企画 （使用済みカレンダーでかばんをつくる）	森信子さん（野楽の塾）	9 人

※参加者数は講師を含む

<成果や工夫したこと>

- ・当団体の職員が事前に講師に作り方のレクチャーを受けて、当日の講師のサポートを行いました。また、講師のレクチャーをもとに、職員が作り方の用紙を作成し、当日に配布しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・当初は、夏休みにより多くの子供が施設を利用してもらえるように、環境政策課と連携した企画を行っていましたが、あり方を見直したために夏休みの開催に間に合いませんでした。

㊹リユース食器の仕組み検討

地域でのイベントやお祭りなどで出るごみを減量するため、リユースできる食器の保有・貸出しを検討しています。平成 27 年度は豊中市とリユース食器の活用支援の仕組みについて断続的に検討しましたが、具体的な方法の実現には至りませんでした。

<成果や工夫したこと>

- ・減量推進課がリユース食器のレンタル費用の補助制度をめざして準備を進めており、制度ができた際には施設で受付対応を行うことをめざして、断続的に調整を行いました。
- ・豊中まつりにてリユース食器の導入を試行実施されたため、実施状況を見学するとともに、後日に減量推進課から結果報告を受けました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・平成 28 年度からのレンタル費用の補助制度の導入が見送られたため、今後、どのような仕組みを検討していくか、見通しが立っていない状況です。

㊺種まきシアター

持続可能な地域をテーマにしたミニシアター系の映像を取り上げ、映像の上映と参加者同士の意見交換の場づくりを行いました。上映に際しては、「あしたの暮らし」と連携し、著作権や放映権の問題がないものを選びました。

日時	内容	参加者数
4月5日(日) 14:00~16:00	ブルー・ゴールド	14人
5月10日(日) 14:00~16:00	「パーマカルチャー」地球とつながる楽園の暮らし	15人
6月21日(日) 14:00~16:00	もっと、フェアトレード 世界につながる私たちの暮らし	9人
7月26日(日) 10:00~12:00	農民ロッカーがれきに花を咲かせましょう	4人
8月15日(土) 10:00~12:00	世界に繋げ！農民ロッカーin モンゴル 風と大地の歌	5人
9月26日(土) 10:00~12:00	内部被ばくを生き抜く	8人
10月12日(祝) 14:00~16:00	ラダック 懐かしい未来	9人
11月14日(土) 15:00~17:00	マネーアンドライフ	3人
12月20日(日) 10:00~12:00	ヴァンダナ・シヴァのいのちの種を抱きしめて with 辻信一	22人
1月24日(日) 10:00~12:00	サティシュ・クマールの今、ここにある未来 with 辻信一	7人
2月28日(日) 10:00~12:00	エンデの遺言 根源からお金を問うこと	16人
3月27日(日) 14:00~16:00	イントランジション 2.0	15人
合計	12回	127人

※参加者数は関係者を含む

<成果や工夫したこと>

- ・毎月の開催が少しずつ定着し、常連の参加者などが増えつつあります。
- ・参加者アンケートを参考に、上映作品の選定や上映環境の改善を行いました。
- ・単に映像を見るだけでなく、参加者同士が意見交換を行うことで、持続可能な地域について考える貴重な機会となっています。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・上映内容で参加人数が大きく異なるため、会場の準備や費用の見通しが立てにくくなっています。
- ・開催する曜日・週・時間帯が一定でないことも一因と考え、曜日などを固定した開催を検討します。
- ・チラシは各回ごとではなく、複数回分をまとめたものを作成し、リピーターや口コミを増やしていくことを検討します。

○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していませんでしたが、豊中市伊丹市クリーンランドと連携して取組みを行いました。

日時	内容	参加者数
7月11日(土) 13:00~14:00	クリーンランド市民講座	19人
7月11日(土) 14:00~15:00	クリーンランド出前講座	22人
合計	2回	41人

※参加者数は当団体の会員や講師、市職員などを含む

## (2) 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供

環境問題そのものの情報から、環境活動や環境イベントに関する情報の収集・提供・発信、環境情報に関する問合せ対応、図書の閲覧・貸出、施設に関する情報の提供・発信など、さまざまな形で取り組みました。

### ①環境情報の収集・提供・発信

豊中市内外の環境イベントや環境に関する情報について、収集・提供・発信しました。

具体的には、施設に寄せられたポスターやチラシの掲示・配架を行うとともに、施設を利用して行われる行事のチラシ掲示を開始（7月2日から）しました。その他、豊中エコショップ、省エネマイスターのお店といった情報についても、ホームページにリンクを貼る形で紹介しました。

<成果や工夫したこと>

- ・貸室を利用して行われる環境目的の行事について、行事のチラシを掲示できるボードを設置し、申込み時に対応を行いました。
- ・ホームページで、新たに豊中市内の環境情報が見られるようにしました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・どのような環境情報を収集・提供する必要があるか、検討が必要です。

### ③近隣の行政や環境団体との交流による情報収集

施設に勤務する当団体職員が、定期的に近隣の行政や環境団体と交流をはかり、近隣や広域の環境情報を把握するとともに、紹介するべき情報の提供・発信をめざして情報交換を行いました。

月日	内容	相手先・場所
7月17日（金）～ 8月12日（水）	池田エコミュージアムで企画展示（パネル展）	池田エコスタッフ
1月18日（月） 10:00～17:00	第7回小さいとこサミット～小規模ミュージアムの集い～でリーフレットやチラシの配布、施設のPR	堺ふれあいの森
1月18日（月）～ 2月5日（金）	森林のギャラリー展示でぴったんこ隊の活動紹介	近畿中国森林管理局
1月25日（月） 12:45～17:35	森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会でぴったんこ隊の活動発表	近畿中国森林管理局

<成果や工夫したこと>

- ・平成26年度に施設で池田エコミュージアムの展示を行ったことを受けて、平成27年度は反対に施設の展示を池田エコミュージアムで行うという相互の交流を行いました。
- ・林野庁近畿中国森林管理局などが主催の森林ESD活動報告・意見交換会で、ぴったんこ隊の活動発表とパネル展示を行い、西日本エリアで活動を行う関係者に対して、施設の事業をPRする機会となりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・他地域との交流を通して得られた情報や知見を施設運営に反映する、または施設の来場者への提供につなげていく必要があります。

#### ④環境情報の問合せ対応・検索のサポート

市民からの問合せや、来場者による環境情報の提供などを行いました。リサイクル交流センターの頃からの流れもあり、ごみに関する電話での問合せが最も多くなりました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	11	21	10	14	8	13	14	11	13	9	8	6	138件

※各月の数字は利用件数

※行事に関する問合せや当団体に対する問合せは含んでいない

#### <成果や工夫したこと>

- ・講師紹介や環境プログラムに関する問合せなどが見られるようになってきました。
- ・施設の事業や参加申込み、自主事業（販売物等）、周辺の道案内など、上記の件数に含まない問合せはかなり多く、それらの対応も行っています。

#### <これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・環境活動や環境情報そのものの問合せに対する対応の体制を検討するとともに、それらの相談ができる場所であることの発信が必要です。

#### ⑥図書などの閲覧・貸出し

環境に関する図書や資料の整理を行い、来場者が自由に閲覧・貸出しできるようにしました。また、所有する図書を紹介し、閲覧・貸出を促進するため、(4) ②主催展示の一環として、図書をテーマとした展示も実施しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出件数	1	4	1	7	0	1	0	1	1	1	1	4	22件
貸出冊数	3	7	2	13	0	2	0	1	1	1	4	4	38冊

※図書をテーマとした展示は、(4) ②主催展示に記載

#### <成果や工夫したこと>

- ・図書の閲覧・貸出しを PR するため、7月に図書をテーマとした展示を行い、この月の件数・冊数が他の月に比べて突出して多くなりました。
- ・定期的に本を貸出しするリピーターも定着しつつあります。
- ・閲覧や貸出の多い児童図書を増やすため、蛍池図書館から廃棄本を譲り受けるなど、図書の充実に取り組みました。

#### <これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・定着しつつある一方で、平成 26 年度よりも貸出しの件数・冊数ともに減少しました。閲覧・貸出しがより増えるよう、図書に関する表示物のあり方について、あらためて検討します。

#### ⑦環境交流センターのおしらせ

施設の行事や案内を、「環境交流センターのおしらせ」としてチラシ 1 枚（両面）程度にまとめて毎月発行しました。まとめた内容は、施設内で来場者へ配布するとともに、豊中市内の公共施設にも配架しました。発行部数は各月 700～1,000 枚程度です。

また、お知らせに掲載している内容は、豊中市立図書館のメールマガジンや、環境のポータルサイトへも情報提供し、配信・掲載を通して広く周知しました。

<成果や工夫したこと>

- ・行事だけでなく、陶器とりかえの調査結果やネーミングライツ制度の導入など、施設に関する情報も一緒に掲載し、来場者への広報に努めました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・施設の情報以外の掲載も検討を行い、豊中市との調整を進めましたが、結論は次年度以降へ持ち越しとなりました。

#### ⑧ホームページの運営

オリジナルのドメインによる、施設のホームページを管理し、施設・行事・環境情報などを発信しました。平成 27 年度のページビュー数は 25,863 でした（ブログページは除く）。

また、ホームページの運営の一環として、スタッフブログを更新し、平成 27 年度に 53 件の情報を掲載しました。ブログではイベントの報告を掲載し、講師や参加者にも掲載したことを伝えて、ブログやホームページの認知度向上に努めました。

ホームページアドレス <http://kankyokoryu.jp/>

<成果や工夫したこと>

- ・不用品交換コミュニティボードの申込みや情報掲載、貸室の様式、駐車場マップなど、ホームページを使った情報提供を行いました。
- ・ぴったんこ隊など保護者が参加できない行事では、ブログでのイベント報告を保護者が楽しみにしており、情報共有のツールとしても活用しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・ホームページのページビュー数は微増に留まっており、ホームページのあり方を検討することが必要です。

#### ⑨インターネット放送の活用

8 月から、持続可能な社会をテーマに「環境ポレポレ」という番組（録画配信）を企画し、映像作品の制作とアップロードを行いました。3 月末の段階で、制作した映像を環境交流センターのホームページから閲覧できるように公開しました。

なお、「環境ポレポレ」と同じ手法で映像制作を行う環境コミュニケーション講座を実施し、受講生の作品も「環境ポレポレ」の映像として公開することを呼びかけましたが、受講生の意向もあり、年度内の公開に至っていません。

<成果や工夫したこと>

- ・25 年度に実施した Ustream による生放送の配信は、Ustream の条件変更や機器の更新などの影響によりできなくなったため、新たな企画によりインターネット放送の活用を進めました。
- ・環境コミュニケーション講座の映像制作と同じ手法を使うことにより、多くの方が映像制作を行ったとしても活用できるように配慮しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・映像制作手法が自分の内面と結びつけた制作手法なので、環境コミュニケーション講座の受講生に、公開することの承諾を得られず、現在公開している映像に限りがあります。
- ・映像の公開を前提として制作する仲間をどう集めていくかが課題となっています。

○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していませんでしたが、環境政策室などと連携して取組みを行いました。

日時	内容	備考	参加者数
5月20日(水) 14:00~16:00	新聞紙でエコバッグ作り	庄内公民館・南部地域連携センター主催講座に講師として職員を派遣	24人

○メディアなどの取材・掲載

施設や施設の行事について取材対応を行い、各媒体で紹介されました。

日時	内容	紹介方法
5月2日(土)	地域こだわりマルシェ&野菜市場をFM千里が取材	「キッズのこりん隊」で生放送
	地域こだわりマルシェ&野菜市場をJ:COMが取材	「03ステーション」で放送
5月28日(木)~ 6月3日(水)	6月6日(土)の地域こだわりマルシェ&野菜市場をJ:COMが告知	「03ステーション」の番組内で30秒程度放送
7月17日(金)	環境交流センターの募集内容をFM千里が取材 (当初取材予定だった整理収納サークルが警報発令で中止となったため、内容を変更)	「飛び出せ!のこりん隊」で生放送
9月5日(土)	リユースバザーをFM千里が取材	「キッズのこりん隊」で生放送
9月17日(木)~ 23日(水)	9月25日(金)の秋の鳴く虫観察会をJ:COMが告知	「03ステーション」の番組内で30秒程度放送
9月19日(土)	自然ふしぎ発見クラブをJ:COMが取材	「03ステーション」で放送

**(3) 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施**

地球環境の保全等につなげるため、関連する内容の講座や普及啓発を行いました。また、これまで豊中市が主体となっていた啓発事業を引き継いで実施するとともに、これまでも当団体が市と協働で進めてきた自然環境啓発や循環型社会推進についても取組みました。

①暮らしやモノを考える講座

家庭の暮らしにつながる講座として、平成27年度は、整理収納・省エネ・布ナプキンの3つをテーマに実施しました。

整理収納は平成26年度からの継続として、自分の暮らしにおける生活用品の適量を把握し、モノの手放し方を学ぶ機会とし、省エネは自宅で使うエネルギーの種類や量を考える機会としました。それぞれ参加者がサークルのように定期的に集まり、情報交換を通して主体的に学びあう場を提供しました。布ナプキンは受付での常設販売に際して、購入者からのニーズが高いことを受けて、手作りを通してごみや体を考える機会としました。

**【整理収納】**

整理収納から考えるモノとの付き合い方(講座)

12月10日(木)開催中止(参加申込者が相次いで都合が悪くなったため)

整理収納サークル

日時	講師	参加者数	一時保育
4月24日(金) 10:00~12:00	尾山敬子さん (整理収納アドバイザー)	9人	—
5月21日(木) 10:00~12:00		8人	1人
6月19日(金) 10:00~12:00		7人	—
8月27日(木) 10:00~12:00		5人	—
9月25日(金) 10:00~12:00		8人	—
10月30日(金) 10:00~12:00		8人	—
11月27日(金) 10:00~13:00		7人	—
12月18日(金) 10:00~12:00		7人	—
1月29日(金) 10:00~12:00		12人	1人
2月26日(金) 10:00~12:00		9人	1人
3月24日(木) 10:00~12:00		9人	2人
合計		11回	89人

※参加者数は講師を含む

※7月17日(金)は警報発令のため開催中止

<成果や工夫したこと>

- ・12~1月に施設内で整理収納の展示を行うことで、サークルメンバーは自分たちのサークルの公共性と環境配慮の側面を自覚し、また、来場者には、整理収納サークルの意義と成果を紹介できました。
- ・サークル活動の一環として、メンバーの有志がリユースバザーに出店し、自分たちで不用となったモノを手放すことを実践しました。
- ・地域でのリユースに関する情報収集について、先行して活動している箕面の「もったいながりや」のメンバーにヒアリングを行い、活動に活かしました。
- ・整理収納の切り口で3Rやグリーンコンシューマーをめざしていくサークル運営は先駆的であり、当初、参加者にその意図を理解してもらうのが難しく、メンバーが安定しませんでした。講師と職員の粘り強い説明により、平成27年度から講座の目的を理解、賛同するメンバーが定着しました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・サークルが安定し、リユースバザーの出店や展示など自主的な活動が増えてきたので、今後は運営に関しても、少しずつ自主性を求め、メンバーがサークルの運営を考えていけるような体制づくりを進めていきます。

【エネルギー】

日時	内容	場所	講師	参加者数
8月15日(日) 13:30~15:30	エネカフェ 知ろう語ろうみんなであそぶ省エネ講座	環境交流センター	筒井章子さん(あしたの暮らしエネルギー部)	7人
11月29日(日) 9:30~12:30	エネカフェ 炭コンロを作ろう!	中央公民館		15人

※参加者数は講師を含む

<成果や工夫したこと>

- ・8月の開催では、豊中市主催の省エネチャレンジキャンペーンの参加者が、省エネのノウハウを知る機会としても活用できるようにPRしました。
- ・持ち運びができて、自宅でも使える炭コンロの制作や炭の話を行い、森林や豊中の竹林のバイオマス利用を含めた、暮らしのエネを考える機会としました。
- ・整理収納サークルのように定期的な参加者を考えていましたが、テーマに応じた参加する人が多いことがわかりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・今後は、参加者が講座で考えたことや発見をどう持続的に活用しているかといった成果について、過去の参加者へのアンケート実施などにより検討していきます。

【布なぶきん】

日時	内容	講師	参加者数
8月4日（火） 10:00～14:00	布なぶきん作りとお話	北摂手作りの会 USAGIGUMO	5人

※参加者数は講師を含む

<成果や工夫したこと>

- ・布なぶきんを作るだけでなく、講師から活用などの話を聞く機会との2本立て（午前・午後）で企画し、また、夏休みに開催することで母と娘で参加できるような場を設定しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・開催日の設定が参加者のニーズと合っておらず、参加者が限られてしまいました。
- ・布なぶきんを多くの方に知ってもらえるように、教員や保健室の先生など、知ってほしい人たちの近くにいる人たちにも広報していきます。

③環境コミュニケーション講座

すでに環境活動・地域活動を行っている方を対象に、環境をテーマとした制作物を作ることで、環境についてさまざまな視点から考え議論する力、伝える力、読み解く力を向上させます。平成27年度は、映像作成、パネル作成をテーマに、いずれも1日講座で行いました。

また、環境コミュニケーション講座を行うにあたり、環境交流センター、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ、とよなか国際交流センター、市民活動情報サロン、豊中人権まちづくりセンターのスタッフが有志で関わって「豊中つくるプロジェクト」を作り、昨年度から地域でコミュニティメディアを扱う講座の連携やネットワークの構築に取り組んできました。今年度から本格的に連携していくこととし、他施設での開催についても協力をしました。

なお、事業計画に入れていた寸劇作成をテーマとした講座は、講師の調整がつかず、実施に至りませんでした。平成28年度の実施を計画しています。

【主催】

日時	内容	場所	講師	参加者数
3月6日（日） 10:00～16:00	伝わるポスターの作り方	環境交流センター	芝田陽介さん（グラフィックデザイナー）	2人
3月18日（金） 10:00～16:00	自分の言葉で語る映像制作ワークショップ	すてっぷ	豊中つくるプロジェクト	7人
合計		2回		9人



※参加者数は講師を含む

※3月18日はすてっぷの協賛、豊中つくるプロジェクトの協力を得て実施

【他団体主催（協力分）】

日時	内容	場所	協力内容
8月25日（火） 10:00～16:00	活動PR映像を作ろう～映像制作講座～	市民活動情報サロン	広報
10月13日（火） 18:30～20:30	まわしよみ新聞	豊中人権まちづくりセンター	当日の進行役

<成果や工夫したこと>

- ・他団体と連携し、情報共有や協力を行うことで、豊中市内でメディアを使ったコミュニケーションをテーマとした講座を2カ月に1度程度行うことができました（上記以外の講座を含む）。
- ・ポスター印刷の促進も含め、近隣では開催されていないポスターをテーマにした講座を開催することができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・近隣で開催されていない講座のため、講師選定や準備に追われ、十分な広報（期間や手段）やマーケティング調査ができず、参加者数が少なくなっていました。
- ・広報期間を充分とれるような、スケジュール管理を行い、より多くの人に環境コミュニケーションという、先駆的な講座に参加できる機会を提供していきます。

④キッズクラブ・親子クラブ

「ぴったんこ隊」と題して、小学1年生～4年生を対象に、世界や地域の環境を考えることをテーマとした、参加・体験型の連続講座を実施しました。半年（5～6回程度）を1クールとし、年間2クールを行いました。実施に際しては、大阪大学環境サークルGECSと連携し、大学生の学びの場にも位置づけました。また、平成26年度の参加者を対象に、同窓会企画も実施しました。

なお、事業計画では2歳程度の子どもとその保護者を対象とした参加型の取組みも検討しましたが、実施に課題があり、試行は見送りました。

日時	内容	場所	参加者数
6月14日（日） 14:00～16:00	食べ物のふるさとを調べよう	環境交流センター	37人
7月12日（日） 14:00～16:00	世界がもし20人の村だったら	環境交流センター	44人
8月18日（火） 9:00～16:30	夏休みの自由研究 水の大冒険	滋賀県野洲市菖蒲漁港	34人
8月19日（水） 10:00～12:00	夏休みの自由研究 水の大冒険	環境交流センター	34人
9月13日（日） 14:00～16:00	アートで遊ぼう	環境交流センター	63人
11月8日（日） 14:00～16:00	世界のゲームで生き物博士	環境交流センター	26人
12月13日（日） 13:00～16:00	豊中の生き物探し	とよなか四季彩園	34人

1月17日(日) 14:00～16:00	さあ、みんなで世界旅行	環境交流センター	23人
2月14日(日) 11:00～13:00	エコクッキングにチャレンジ	中央公民館	31人
3月13日(日) 14:00～16:00	春のびったんこ祭り	環境交流センター	42人
合計	10回		368人

※参加者数はスタッフを含む(9月13日、3月13日は見学の保護者を含む)

※小学生の参加登録者数は前期23人、後期17人

#### <成果や工夫したこと>

- ・子どもたちの学びあいの場となるよう、疎外感に配慮しながら実施しました。
- ・より多くの子どもの機会提供を行うため、平成26年度の参加者の申込みは断ることにしました。
- ・毎回保護者へ手紙を渡し、講座全体の意味、各講座の意図が分かるように工夫をしました。
- ・ブログでの講座報告も保護者に周知するように徹底したところ、アンケートに答えた80%以上の保護者が、ブログを通して講座内容に関心や理解を示してくれました。
- ・子どもが連続して多数参加する講座のため、施設の保険とは別に保険をかけるとともに、参加するすべての学生にボランティア保険をかけ、講座内での安全管理以外の配慮を行いました。
- ・大学生やスタッフ(当団体職員およびメンバー)から参加者1人ずつに手書きの手紙を送り、こちらから見た子どもたちの成長を伝えました。何人かの子どもたちは、手紙を書いた大学生や施設宛に返事を送ってくれました。
- ・大学生からの希望を踏まえ、毎回大学生が前に立って、ファシリテートする場面を作りました。
- ・すべてを大学生が企画・実施する回を設けました。そして、子どもたちのよりよい学びの場となるよう、また、大学生も成長できるよう、連絡や打合せを重ね、粘り強いサポートをしました。
- ・毎回、スタッフから大学生1人ずつへ手書きの手紙を書き、大学生のモチベーションと育成の両方をサポートしました。
- ・講座の評価の検討として、大学生とスタッフで行うふりかえりを毎回録音し、大学生にも家で個々のふりかえりができるシートを渡して、その提出を求めました。

#### <これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・事業としては年度末で総括をしますが、大学生は年度の途中でサークルを引退するため、丁寧な総括の機会を別の時期にも持つ必要があります。平成27年度はそれが分かっていなかったため、継続の意思確認などで曖昧なところがありました。
- ・大学生が中心となる企画・実施する回では、大学生の成長とともに講座の質の担保も行わなければならない、スタッフ側がどこで線を引くのか、あるいはスタッフ側の人育ての力量をどのように上げていくのか検討していく必要があります。
- ・平成26年度は大学生の人数が少なかったが、平成27年度からは毎回10人以上が参加するようになり、大学生に以前と同じ形のきめ細かいサポートをすると、とても時間がかかってしまいます。今後は、前よりも大きな人数を育成していく方法の構築が必要です。

#### 【びったんこ隊2014年度同窓会企画】

日時	内容	場所	参加者数
8月19日(水) 14:00～16:00	みんなの森を作ろう	環境交流センター	14人

※参加者数はスタッフを含む

<成果や工夫したこと>

・平成 26 年度の参加者の申込みを断ることにした一方、それらの参加者を対象とした場を作りました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・申込みは多かったものの、申込みから初回の開催日までに期間があったため、保護者が開催を忘れてしまい、子どもが参加できないケースがいくつかありました。そのため、申込み時期と初回の開催日の期間を少し短くするとともに、参加者に確認の連絡を行います。
- ・同窓会企画は、ぴったんこ隊の 2 日連続開催の 2 日目午後に行ったため、大学生もスタッフも少し疲れていた一方、子どもたちは大変楽しみにしていて、テンションが高い状況でした。今後は開催時期や参加する大学生の分担について検討します。

⑦とよなかキッズタウンの調査・研究・場づくり

子どもたちが社会の仕組みを知り、持続可能性を学ぶことで環境学習や ESD につなげるため、子どもたちだけのまちづくり体験ができる「とよなかキッズタウン」（いわゆるミニミュンヘンと呼ばれるもの）の開催をめざしています。平成 27 年度は、実現に向けて学校関係者との調整を行いました。

<成果や工夫したこと>

- ・子どものまちなどの子どものイベントに詳しい方と相談し、来館者増加に伴う職員の業務量の増加なども加味した上で、市内全域を対象に参加者を募る形ではなく、限定された地域の子どもたちが集まる場を探して開催を検討することにしました。
- ・市内の他の行事で第八中学校の生徒がまちの課題への自分たちの提案企画として、環境とまちづくりを兼ねた提案をしていたことから、開催時に協力を得られるよう、第八中学校の教員と調整を行い、学校長宛に協力依頼を送りました。
- ・限定された地域での開催の場として、地域の子ども会が相談に来た時に、「とよなかキッズタウン」の提案を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・第八中学校や地域の子ども会などへの依頼・提案に対する返答はまだ得られていません。協力を得られなかった場合は、他の団体や学校に呼びかけるなど、場を探していくことが必要です。

⑧地球温暖化防止講演会

地球温暖化防止の普及啓発を目的に、地球温暖化防止の講演会を開催しました。また、環境政策課と連携し、エコ市民賞の表彰式を同時開催しました。

日時	内容	参加者数
2月13日(土) 13:00~16:10	第1部 第9回とよなかエコ市民賞 2014 表彰式・発表会 第2部 ①発表「わが家の省エネ自慢」 ②講演「電力自由化…わたしたちの電気をどう選ぶ？」 伊東真吾さん（一般社団法人市民エネルギー京都）	107人

※参加者数は当団体の会員や講師、市職員などを含む

※時間や参加者数は第1部を含む

※一時保育を実施し、1人を一時預かりした

<成果や工夫したこと>

- ・市民の関心があると考えられる電力自由化をテーマとしたため、多くの参加者がありました。
- ・市民向け省エネ推進事業の取組みで選出された受賞者による発表も行い、他事業との連携もはかることができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・第1部のみで帰ってしまうエコ市民賞の受賞者や関係者などが多く、そうした方も第2部に残ってもらえるような魅力ある企画を考えることが必要です。

#### ⑨環境フォーラム

話題となっている環境問題などをテーマに、フォーラムを開催しました。また、環境政策課と協力し、開催場所を千里文化センター「コラボ」とし、豊中市環境報告書「とよなかの環境・中間報告」の報告も兼ねました。

日時	内容	場所	参加者数
9月12日(土) 13:30~16:00	環境活動と地域のつながり～活動を通して地域と関わろう～ 活動発表団体（順不同） ・千里文化センター市民実行委員会 ・赤ちゃんからのESD ・島熊山緑地協議会 ・パナホーム（株） ・新千里千修会 ・NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 ・豊中市環境部環境政策課	千里文化センター 「コラボ」	91人

※参加者数は当団体の会員や講師、市職員などを含む

<成果や工夫したこと>

- ・会場を千里文化センター「コラボ」とし、千里周辺の環境活動の発表と参加者による意見交換という新たな形での開催を試みました。
- ・発表団体からの参加が多く、お互いの団体の活動について知り合う機会となった。また、終了後には参加者が自主的に「コラボ」の屋上庭園の見学会を開催しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・行政関係者の参加も多かったものの、後半の意見交換になると大半が退席してしまいました。
- ・これから環境活動に関わりたいという方を対象としていましたが、そうした方の参加はほとんどなく、すでに活動をしている人が中心でした。

#### ⑩ESD セミナー

持続可能な地域づくりをめざして、市民に気軽に参加してもらえるようなセミナーを開催します。参加型の連続講座とし、テーマはESD とよなか連絡会議と連携して設定しました。

日時	内容	場所	参加者数
3月17日(木) 19:00~21:00	あなたも社会クリエイター 日常と社会を変える 選択【講演会】	とよなか国際交 流センター	15人
3月27日(日) 13:30~16:30	あなたも社会クリエイター 日常と社会を変える 選択【ワークショップ】		18人
合計	2回		33人

※参加者数は関係者などを含む

※ESD とよなか連絡会議が共催

<成果や工夫したこと>

- ・ESD とよなか連絡会議でワークショップを行い、その中で出てきた「特別ではない日常の社会参画」として、買い物などを含めた日常の「選択」をセミナーのテーマとしました。
- ・ワークショップの流れやチラシ、広報先などを ESD とよなか連絡会議で協議し、環境分野だけではなく多様な視点からの意見と協力を得ることができました。
- ・セミナーの協力者として、これまでに施設の講座に関わった大阪大学の学生にもファシリテーターとして関わってもらいました。
- ・環境分野や働く世代を対象としていましたが、福祉や男女参画などの多彩な分野の参加者を得ることができました。
- ・平成 26 年度からの継続した参加者が数人ありました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・ESD とよなか連絡会議で協議を重ねることで内容が充実しましたが、会議の開催時期との兼ね合いで、参加者のニーズに合わせた時期に開催できませんでした。
- ・新しく関わった大学生やファシリテーターには、ESD とよなか連絡会議の協議の進み具合とセミナーの進行状況との共有があまりできなかったため、今後は共有の仕方を工夫する必要があります。
- ・さらに幅の広い参加者を得るため、チラシの表現や見せ方の工夫が必要です。

⑪3R 実践市民講座

市民のごみ減量に対する理解と具体的な実践につなげることを目的とし、平成 27 年度は単発の講座とし、エコクッキングを小学生と保護者を対象としました。

日時	内容	講師	場所	参加者数
2月28日(日) 10:00~13:00	やってみよう！エコクッキング	当団体の花と緑のネットワークのメンバー	中央公民館	9人
3月9日(水) 10:00~11:30	野菜・果物の上手な保存方法	川崎弘道さん(生活協同組合コープこうべ店舗商品部)	環境交流センター	18人
合計		2回		27人

※参加者数は当団体の会員や講師などを含む

<成果や工夫したこと>

- ・野菜を共通のテーマとしつつも、講座とエコクッキングを連続講座から単発へと変えて、参加対象者を分けることとしました。
- ・とよっぴー農園(緑と食品のリサイクルプラザ内)の野菜を活用し、親子対象のエコクッキングを行うことを試行的に実施しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・親子対象としては時期が悪かったため、エコクッキングの参加者が低調でした。

⑫リサイクル作品展

小学生が夏休み中の自由研究などで作成したリサイクル工作の作品を募集・展示し、豊中市と連携して優秀作品を表彰しました。

期間	内容
7月28日(火)~8月8日(土)	作品の募集(55件)
8月12日(水)~20日(木)	作品の展示(入賞5件)

<成果や工夫したこと>

- ・例年、桜井谷東小学校からまとめて作品の応募があるため、事前に学校へ情報提供を行いました。
- ・入賞作品の応募者へ審査委員のコメントを伝えました。また、コメントも含めた審査結果は後日に施設内で展示して報告しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・桜井谷東小学校の担当教員が再任用で、次年度から担当者が変わるため、引き続き応募してもらえようように調整が必要です。
- ・桜井谷東小学校以外の応募が限られているため、広報の方法を検討する必要があります。

⑬自然観察会

地域の自然環境に親しんでもらうため、豊中市内の自然が残された場所で自然観察会を開催しました。

実施日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
4月11日(土)	春の自然観察会「北町公園～千里緑地三角点への散策とコバノミツバツツジの鑑賞」	北町公園～千里緑地	14人	0人	3人
7月25日(土)	千里川の水生生物観察会	千里川	16人	18人	14人
9月25日(金)	秋の鳴く虫観察会	服部緑地	22人	22人	15人
2月6日(土)	服部緑地で冬の野鳥観察会	服部緑地	35人	20人	11人
合計	4回		87人	60人	43人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）

※千里川の水生生物観察は7月18日（土）を予定していたが河川増水のため延期

<成果や工夫したこと>

- ・鳴く虫観察会や冬の野鳥観察会は開催が広く知られるようになり、参加者が定着してきています。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・水生生物観察会は河川増水で延期をしたため、26年度よりも参加者が減少しました。
- ・参加者が多くなると、列になって移動しながら観察する際に、講師から遠くて説明が聞き取りにくい場合もあり、説明者の配置などの検討が必要です。

⑭自然学習講座

豊中の自然環境の現状や保全についての理解を深めるため、専門家を講師に講座を開催しました。

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数	スタッフ数
10月31日(土)	ツバメの住む街	須川恒さん（龍谷大学非常勤講師）	中央公民館	29人	2人
12月12日(土)	外来種ペット野生化の脅威 和亀生息の現状	西堀智子さん（和亀保護の会代表）	環境交流センター	17人	2人
3月26日(土)	農が育んだ生物多様性	山本剛郎さん（関西学院大学名誉教授）	中央公民館	20人	2人
合計	3回			66人	6人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）

<成果や工夫したこと>

- ・当団体が実施した自然観察会へ参加された専門家による講座、豊中市内で課題となっているため池の管理に関連する講座、次年度の身近な生き物調査につながる講座といった、豊中の自然環境の保全活動に即した実施を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・平成 26 年度よりも合計で 20 人以上の参加者が減っており、テーマによる影響はあるものの、広報のあり方について検討する必要があります。

⑮自然ふしぎ発見クラブ

豊中の自然にふれあい、体験できる機会として、5 歳～小学生とその保護者を対象に行いました。

実施日	テーマ・内容	場所	参加者数		スタッフ数
			子ども	おとな	
4月18日(土)	竹のふしぎ発見と竹の子掘りに挑戦	千里中央公園	44人	44人	14人
7月25日(土)	公園でセミの羽化を見てみませんか	千里中央公園	16人	23人	8人
9月19日(土)	秋の昆虫観察 いろいろなバッタのふしぎ	服部緑地	36人	32人	9人
12月5日(土)	竹炭焼き実験と竹ごはん作り	千里中央公園	21人	24人	9人
1月7日(木)	春の七草さがしと七草がゆの試食	くらしかん	23人	14人	10人
3月19日(土)	冬芽観察と落ち葉を集めて焼き芋大会	千里中央公園	25人	18人	13人
合計	6回		165人	155人	63人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）

※9月19日開催分は、「服部緑地の自然を育てる会」の後援

<成果や工夫したこと>

- ・一部の回では定員を超える申込みがあり、可能な範囲で参加を受け付けました。それらも含めて、平成 26 年度より合計で 70 人も参加者が増えました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・参加申込みが多数と予想される回は、受付の時期や方法などを考慮することが考えられます。
- ・スタッフも多く参加しましたが、参加者が多い場合はそれでも人手の少ない場所がありました。

⑯身近な生き物調査

自然に関心のある市民を調査員として募集し、市民による豊中市内の自然調査を実施しました。平成 27 度は春の七草をテーマとし、調査員である当団体の自然部会が中心となって調査結果を集計、調査冊子を作成するとともに、市民向けにホームページの掲載や報告会を開催しました。

実施日	内容	場所	参加者数
3月7日(土)	調査員募集説明会	くらしかん	27人
3月11日(水)	調査植物種観察、説明会	向丘、桜の町	13人
3月7日(土)～4月30日(木)	調査期間	豊中市内	66人
7月12日(土)～3月6日(金)	準備・打合せ、まとめ作業、報告書作成(16回)	環境交流センター・くらしかん	82人
1月23日(土)	報告会・交流会	くらしかん	24人
合計	20回		212人

※当団体の自然部会が実施

<p>&lt;成果や工夫したこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 15 年の調査から 12 年ぶりに実施し、報告書では当時と比較したまとめを作成できました。</li> <li>・春の七草が見つけれられる 3~4 月を調査期間とするため、平成 26 年度の後半から準備を開始しました。</li> <li>・ガールスカウトのメンバーがグループで調査に参加したため、市民調査員は例年の 2 倍程度の 66 人となりました。</li> </ul> <p>&lt;これからの方向性（現状の課題を含む）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終の報告会の参加者数は、平成 26 年度は市民調査員の人数よりも多い参加がありましたが、平成 27 年度は市民調査員の人数と比べてもかなり少ない人数に留まりました。</li> </ul>
---

⑰生ごみ堆肥化講習会

家庭のごみ減量と資源循環をめざして、段ボールを使った生ごみの堆肥化の講習を開催しました。なお、平成 24 年度までの経過を踏まえて、平成 27 年度は主にくらしかんを会場としました。

実施日	場所	主な内容	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
4月18日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	4人	0人	3人
5月16日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	5人	0人	3人
5月29日(金)	緑と食品のリサイクルプラザ	出前講習実演	3人	71人	1人
6月20日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	4人	0人	3人
7月18日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	3人	0人	3人
9月19日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	2人	0人	3人
11月21日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	4人	0人	3人
1月9日(土)	花とみどりの相談所	堆肥化の取り組み説明	10人	0人	3人
1月16日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	5人	0人	3人
2月20日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	2人	0人	3人
3月19日(土)	くらしかん	堆肥化講習会	3人	0人	3人
合計	11回		45人	71人	31人
			116人		

※当団体の花と緑のネットワークが実施（スタッフ数は花と緑のネットワークの担当者の人数）

<p>&lt;成果や工夫したこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が少ないため、形式ばらない密度の濃い講習会となっており、参加者からは好評を得ています。</li> </ul> <p>&lt;これからの方向性（現状の課題を含む）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数が少ないまま推移しており、広報について検討する必要があります。</li> </ul>
---

⑱楽しい野菜栽培講習会

有機質資源の有効活用の一環として、農作物の育て方に関する講座を開催しました。また、12月には食育講演会を開催しました。



実施日	場所	主な内容	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
8月8日(土)	環境交流センター	とよっぴーを使って冬野菜の作り方	6人	0人	4人
12月5日(土)		無農薬・有機資材で野菜作り土づくり	3人	0人	4人
12月18日(金)		食育講演会	60人	2人	3人
3月5日(土)		春・夏野菜の育て方講習会	18人	0人	4人
合計	4回		87人	2人	15人
			89人		

※当団体の花と緑のネットワークが実施（スタッフ数は花と緑のネットワークの担当者の人数）

※12月18日の食育講演会で一時保育を実施し、1人を一時預かりした

<成果や工夫したこと>

- ・通常の開催に加えて、12月には食育講演会として大規模な開催を行うことができました。また、小学校の給食の献立の改善に一部つながりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・開催日が施設の他の事業と重なったため、場所や日程の調整が必要です。

#### ⑱緑と食品のリサイクルプラザの見学対応

緑と食品のリサイクルプラザの見学希望者に対し、プラザの職員と協力して現地で見学会を開催しました。見学対応は、要請に対して常時対応としました。

期間	回数	参加者数			スタッフ数
		おとな	子ども	合計	
4月～3月	20回	183人	326人	509人	51人

※当団体の花と緑のネットワークが実施（スタッフ数は花と緑のネットワークの担当者の人数）

※個別の実施一覧は別途提出

<成果や工夫したこと>

- ・団体の見学利用に加えて、畑の楽校など施設内の農園活動における参加者にも見学をセットするなど見学の機会を増やすように心がけました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・見学者数は平成26年度よりも100人以上減少しました。特に、年間の見学希望の件数が減少しており、団体（小学校）などへの呼びかけが必要です。

#### ⑳農体験学習・学校等の菜園支援

緑と食品のリサイクルプラザの「とよっぴー農園」での農体験学習の機会提供を行うとともに、小学校を訪問して、食や農に関する授業の実施や、学校菜園の支援を行いました。「とよっぴー農園」は、学校や団体を受け入れるとともに、親子参加の講座を開催しました。また、「とよっぴー農園」は、当団体の花と緑のネットワークの会員が年間を通じて手入れを行いました。

期間	回数	参加者数			スタッフ数
		おとな	子ども	合計	
4月～3月	79回	464人	4,974人	5,438人	162人

※当団体の花と緑のネットワークが実施（スタッフ数は花と緑のネットワークの担当者の人数）

※個別の実施一覧は別途提出

<成果や工夫したこと>

- ・小学校での学校菜園（お米づくり学校）の支援や、食と農に関する出前講座も順調に推移しており、参加者数は全体で5,000人を超えました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・積極的に対応する学校と、比較的低調な学校で差が生じており、後者の場合は関わり方の見直しが必要です。

#### （４）地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供

展示スペースおよびその周辺スペースでの展示などを行いました。また、大学生などを対象に、学生のインターンシップ受け入れや、環境活動に関する支援を行いました。

##### ①環境ギャラリー

豊中市内外の環境関連施設、豊中市内の市民団体や中間支援団体と連携し、また、豊中市内で活動する個人やサークルから環境に関する作品を募集し、環境ギャラリーとして一定期間展示しました。

期間	内容	個人・団体
4月1日（水）～5月6日（水）	日本民家集落博物館の模型展示	堀口宗兵さん
5月1日（金）～5月21日（木）	「若者によるエコ・メッセージ」ポスター	地球環境関西フォーラム
（昨年度の7月）～6月30日（火）	昔を思い出して作った木彫りの人形の展示	芦田昌さん
2月13日（土）～3月11日（金）	あの日を忘れない！～いのちと環境を守り、未来につなごう～	福島プロジェクト豊中

<成果や工夫したこと>

- ・地域の方や他団体や連携し、作品や環境に関する情報を展示で紹介することができました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・主催者による展示や一般による展示利用があり、展示できる期間に限りがあったため、例年よりも件数が少なくなりました。
- ・市外の環境関連施設や市内の中間支援団体による展示としては、具体的なものはありませんでした。

##### ②主催展示

環境問題に関する基礎的な情報、自然など豊中に関する環境情報、「豊中アジェンダ 21」や当団体の活動などを一定期間、または常設として展示しました。

期間	内容
4月15日（水）～30日（木）	豊中 里山・里地の自然展
5月15日（金）～31日（日）	環境交流センターの取り組み紹介
6月2日（火）～28日（日）	ジーンズ刺し子の展示
7月7日（火）～8月7日（金）	夏休み応援フェア 子どものための環境の図書展
7月7日（火）～8月7日（金）	絶滅危惧種のぬり絵展
8月23日（日）～9月23日（祝）	「豊中の自然展」～豊中秋の七草調査・2014から～
12月5日（土）～1月28日（木）	整理収納サークルの活動紹介

<成果や工夫したこと>

- ・ジーンズ刺し子の展示のようにイベントと連携したものや、夏休みに子ども向けの展示など、主催者として新たな展示を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・例えば、ジーンズ刺し子の展示や整理収納サークルの活動紹介は、施設の事業の一環ということで主催展示としていますが、相手方のあるものであり、内容によっては環境ギャラリーと分類がしづらくなっているものもあり、考え方の整理が必要です。

### ③インターンシップ生の受け入れ（学生の就業体験）

大学生、大学院生を対象にインターンシップ実習を受け入れました。当団体として、大学コンソーシアム大阪、大学コンソーシアム京都を通じて募集し、計3人を受け入れました。

期間	内容
6月26日（金）～7月3日（金）	実習生の事前訪問（各自）
8月6日（木）～9月8日（火）	実習生の受け入れ（1人あたり12日間）

<成果や工夫したこと>

- ・従来は実習期間を定めてから参加してもらっていましたが、実習期間の中から希望日を選択する形に変更し、実習生の予定と合わせやすくしました。
- ・最終日にはまとめ発表を行い、講評と今後に関するコメントを個別に行っており、実習生からはコメントがあることが好評となっています。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・実習生の資質や能力により、実習内容の到達点が大きく左右するため、実習内容の設定や到達目標などについて、今後も考慮していくことが考えられます。

### ④学生の環境活動の支援

環境活動に関心ある学生が学びを深めるため、大学生などを対象に、環境活動に関わる研修を実施し、学生の活動を支援しました。また、学生側からの要請を受けて、環境活動に関する相談に応じました。

日時	内容
10月18日（日） 14:00～17:00	環境教育の教材を活用した大学生のスキルアップ研修
11月5日（木） 13:30～14:30	大阪大学人間科学部に所属する学生（韓国の留学生）が生涯教育の授業の一環で、施設で行う環境教育についてのヒアリング対応
12月6日（日） 14:00～16:20	カレンダーとまつぼっくりツリーをつくろう！ 大阪大学環境サークル GECS 環境教育班の主催イベントに協力し、広報（チラシ作成補助など）と申込受付を支援した（参加者26人）
2月18日（木） 13:30～16:45	大阪大学環境サークル GECS の総会出席（大阪大学豊中キャンパス）

<成果や工夫したこと>

- ・貸室を利用して大阪大学環境サークル GECS が行う行事に協力し、来場者などへ情報提供や参加を呼びかけました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・学生にとって必要とする活動支援の内容について、ニーズを把握しながら実施していきます。

### ⑤施設の装飾

施設の利用者にとって親しみがあり、利用しやすい場とするため、施設のデザインのあり方について、ファンクラブメンバーを対象とし、ワークショップ形式で検討しました。また、ワークショップを通して、物品の移動や掲示物の貼り替えなど、具体的な改善を行いました。

日時	内容	講師	参加者数
2月29日(月) 13:00~16:30	試してガッテン!? センターの顔(玄関)	大滝あやさん(Tao 舎)	13人

※参加者数は講師や当団体会員、市職員を含む

#### <成果や工夫したこと>

- ・事業計画では施設の装飾でしたが、講師と検討を重ねて、来場者が利用しやすい施設デザインのあり方を考えることとしました。
- ・ワークショップの中で実際に物品を移動するなどの具体的な取組みを行い、目に見える形での改善ができました。

#### <これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・1回の実施ではできる範囲に限られているため、継続して実施することが必要です。
- ・表示物の改善など、ワークショップの場ですぐにできないことは、後日に職員があらためて対応することとなり、物品の移動に掲示が追いついていない場所も出てきました。

## (5) その他

### ①緑のカーテンの実証

緑のカーテンの取組みを広く普及するため、ゴーヤを使って緑のカーテンに取り組みました。平成26年度は施設の裏庭側に設置し、窓にゴーヤが広がっている様子を通して利用者に啓発しました。

また、豊中市と協力し、ゴーヤの栽培に関する講習会を開催しました。

日時	内容	参加者数
5月30日(土) 10:00~11:30	ゴーヤで緑のカーテン作り	25人

※参加者数は講師や市職員を含む

### 【ゴーヤカーテンの実施】

月日	内容
6月25日(木)	施設裏庭へゴーヤ苗の植えつけ、ネットの設置
7月2日(木)	施設裏庭へネットの追加設置
10月20日(火)	施設裏庭の地植え、プランターを撤去

#### <成果や工夫したこと>

- ・事務所の窓の外側に緑のカーテンを設置したところ、施設に入っただ目につくという声が多く、来場者に広くPRできました。

#### <これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・残暑が厳しいために10月まで設置していたところ、撤去直前頃に蛾が大量発生しました。

## ②不用品交換コミュニティボードの運営

平成24年度までリサイクル交流センターが実施していた不用品交換コミュニティボードを引き継ぎ、施設内での掲示とインターネットでの掲載を行いました。また、近隣で同様の仕組みを運営している施設の情報を、不用品交換コミュニティボードの利用者に提供しました。

### 【「譲りたい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4月分	11件	0件	3件	1件	0件	1件	4件
5月分	17件	11件	0件	5件	1件	0件	4件
6月分	12件	1件	4件	1件	0件	1件	2件
7月分	13件	6件	3件	2件	0件	1件	2件
8月分	9件	2件	0件	4件	0件	1件	4件
9月分	5件	1件	1件	0件	0件	1件	2件
10月分	6件	3件	3件	0件	0件	0件	3件
11月分	7件	4件	3件	0件	0件	2件	1件
12月分	7件	4件	2件	0件	2件	1件	0件
1月分	18件	15件	3件	3件	0件	0件	5件
2月分	16件	5件	3件	0件	0件	0件	5件
3月分	15件	2件	5件	3件	0件	0件	2件
年度通算	65件	54件	30件	19件	3件	8件	2件

※平成26年度から繰り越した掲出11件、平成28年度へ繰り越した掲出8件（交渉中含む）

※不成立は、引き続き募集を続けたものがあるため、件数の合計が一致していない

※年度末に交渉中となっていた2件は、平成28年度の報告で整理する

### 【「譲ってほしい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4月分	4件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
5月分	5件	2件	0件	2件	0件	0件	0件
6月分	12件	9件	0件	1件	0件	0件	1件
7月分	18件	7件	0件	0件	0件	0件	2件
8月分	18件	0件	2件	1件	0件	0件	1件
9月分	16件	1件	0件	6件	0件	1件	1件
10月分	12件	4件	0件	7件	0件	1件	0件
11月分	8件	3件	1件	0件	0件	0件	0件
12月分	8件	1件	0件	0件	0件	0件	0件
1月分	12件	4件	0件	4件	0件	2件	0件
2月分	9件	2件	0件	2件	0件	0件	0件
3月分	11件	4件	0件	1件	0件	0件	0件
年度通算	41件	37件	3件	25件	0件	4件	0件

※平成26年度から繰り越した掲出4件、平成28年度へ繰り越した掲出10件

※不成立は、引き続き募集を続けたものがあるため、件数の合計が一致していない

<成果や工夫したこと>

- ・不用品の処分などの問合せに対して、不用品交換コミュニティボードの取組みを案内しました。また同じ方が定期的に応募されるなど、取組みが定着しつつあります。
- ・平成 28 年 1 月の広報とよなかで取組みが紹介されたため、申込みや問合せが増加しました。
- ・平成 26 年度と比べて、譲りたいが 30 件、譲ってほしいが 11 件増加しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・施設を介さず、当人同士が直接交渉する仕組みのため、申込みをやめる方がいます。また、交渉結果の報告がなく、連絡がなかなか取れない場合に交渉状況の把握が困難な場合があります。

#### 4. 施設の利用状況

施設の年間の来場者数は17,545人となり、前年度の15,493人から約113%、10,000人という目標値の約175%と、着実に来場者数が増加しています。また、環境交流センターの開設前の平成24年度と比べると、リサイクル交流センターが6,621人、環境情報サロンが4,857人の来場者数であったことから、平成24年度のリサイクル交流センターと比べて約265%、両施設の合計と比べて約153%となっています。

会議室等の稼働率は前年度の44.2%から71.5%へと大幅に向上しました。特に、会議室1(45.8%→68.8%)と展示スペース(26.6%→86.7%)の利用増による効果が大きくなっています。会議室等の申込状況と利用件数についても、約119%(491件→583件)、約121%(453件→549件)と、それぞれ20%程度の増加となりました。

##### ①来場者数

単位：人	一般		会議室等利用				合計	(参考) 昨年度
			環境目的		環境目的以外			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
4月	550	454	231	253	13	64	1,565	1,135
5月	432	452	190	241	39	34	1,388	926
6月	434	480	331	454	8	20	1,728	1,179
7月	481	489	222	298	59	24	1,573	1,304
8月	411	455	278	251	13	24	1,432	1,418
9月	355	405	211	361	9	55	1,396	1,187
10月	405	501	132	163	31	164	1,396	1,346
11月	332	392	160	444	23	56	1,407	1,427
12月	365	399	228	481	27	33	1,533	1,430
1月	361	311	143	279	57	72	1,223	1,086
2月	312	378	282	247	18	21	1,258	1,540
3月	424	471	263	469	7	12	1,646	1,515
年度通算	4,863	5,187	2,671	3,941	304	579	17,545	15,493

##### ②会議室等の稼働率

	会議室1	会議室2	展示スペース	施設全体	(参考) 前年同月
4月	65.4%	53.8%	65.4%	61.5%	28.2%
5月	51.9%	44.4%	100.0%	65.4%	33.3%
6月	72.0%	64.0%	92.0%	76.0%	34.7%
7月	77.8%	59.3%	92.6%	76.5%	33.3%
8月	69.2%	65.4%	96.2%	76.9%	51.9%
9月	61.5%	61.5%	100.0%	74.4%	42.7%
10月	55.6%	59.3%	92.6%	69.1%	48.1%
11月	84.0%	60.0%	84.0%	76.0%	53.8%
12月	70.8%	66.7%	100.0%	79.2%	55.6%
1月	62.5%	66.7%	100.0%	76.4%	33.3%

2月	79.2%	50.0%	70.8%	66.7%	59.7%
3月	77.8%	59.3%	48.1%	61.7%	56.4%
年度通算	68.8%	59.1%	86.7%	71.5%	44.2%

③会議室等の申込状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	72	35	48	51	57	56	47	40	51	56	39	31	583件
貸室	70	35	47	50	56	56	44	37	51	54	39	29	568件
指定	16	6	14	21	21	17	9	3	15	22	11	8	163件
自主	21	4	9	9	12	10	11	14	13	10	4	2	119件
環境	26	17	14	15	17	19	14	13	17	16	18	13	199件
環境外	7	8	10	5	6	10	10	7	6	6	6	6	87件
備品	23	13	18	21	20	21	20	11	15	30	11	10	213件
指定	8	2	8	13	11	9	8	0	5	16	6	4	90件
自主	9	1	1	3	5	6	4	4	2	7	2	0	44件
環境	6	10	5	5	4	5	6	5	6	4	3	4	63件
環境外	0	0	4	0	0	1	2	2	2	3	0	2	16件
キャンセル	0	2	0	2	2	2	3	0	2	0	3	3	19件

※合計は、備品などの追加手続きも含んだ承認の件数

※貸室の件数は、受付番号の数と一致

※キャンセルのうち、使用料の還付請求は2件

④会議室等の利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	47	39	57	46	52	40	44	49	44	39	44	48	549件
貸室	47	39	57	46	52	40	44	49	44	39	44	48	549件
指定	10	11	13	11	28	10	8	8	15	11	14	18	157件
自主	12	8	11	9	8	7	15	14	10	7	8	8	117件
環境	17	12	28	16	9	17	11	19	13	13	17	18	190件
環境外	8	8	5	10	7	6	10	8	6	8	5	4	85件
備品	16	12	18	18	24	14	15	17	13	19	16	21	203件
指定	5	5	6	7	16	7	5	3	6	8	8	11	87件
自主	6	3	1	3	5	3	5	4	3	4	2	4	43件
環境	5	4	10	5	3	4	4	6	3	3	6	5	58件
環境外	0	0	1	3	0	0	1	4	1	4	0	1	15件

※追加手続きの有無に関わらず、1件とカウント



⑤使用料（利用料金）の収入の状況

月	件数	金額（円）
4月	7	20,500
5月	8	14,530
6月	10	32,350
7月	5	9,100
8月	6	16,120
9月	10	21,080
10月	10	18,400
11月	8	9,770
12月	6	17,100
1月	7	11,680
2月	6	9,610
3月	6	11,300
合計	89	191,540

※備品等の追加のみの場合も1件と数えている

（ただし、還付2件（2,450円）があったため、平成27年度の決算額は189,090円）

⑥施設外での実施に伴う参加者数

内容	参加者数	備考
新聞紙でエコバッグ作り	24人	1回（庄内公民館派遣分）
暮らしやモノを考える講座（エネカフェ）	15人	1回（施設外実施分のみ）
環境コミュニケーション講座	7人	1回（施設外実施分のみ）
キッズクラブ・親子クラブ（びったんこ隊）	99人	3回（施設外実施分のみ）
環境フォーラム	91人	1回
ESDセミナー	33人	2回
3R実践市民講座	9人	1回（施設外実施分のみ）
自然観察会	147人	4回
自然学習講座	49人	2回
自然ふしぎ発見クラブ	320人	6回
身近な生き物調査	130人	説明会、調査期間、報告会
生ごみ堆肥化講習会	116人	11回
緑と食品のリサイクルプラザの見学対応	509人	20回
農体験学習・学校等の菜園支援	5,438人	79回
合計	6,987人	

※内容はすべて「3. 管理運営業務の実施状況」に記載

## 5. 管理運営業務に係る経費の収支状況

平成 27 年度 豊中市立環境交流センター指定管理業務 収支決算書

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

(単位:円)

収入							
項目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. 施設の提供	5. その他	施設管理
指定管理委託料	15,962,400						
事業収入	899,680	225,310	4000	415,800	0	0	254,570
寄付収入	17,064	17,064	0	0	0	0	0
収入合計	16,879,144						
支出							
科目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. 施設の提供	5. その他	施設管理
人件費							
賃金手当	9,344,588						
通勤交通費	455,200						
法定福利費	1,379,262						
退職金共済制度掛金	288,000						
福利厚生費	23,273						
職員研修費	10,000						
賃金振込手数料	26,236						
人件費計	11,526,559						
事業費							
外注費	986,821	0	0	0	0	0	986,821
備品費	0	0	0	0	0	0	0
図書費	14,987	0	14,987	0	0	0	0
印刷費	308,750	7,980	1,220	97,188	1,635	18,250	182,477
通信運搬費	336,065	21,837	540	25,830	1,736	2,420	283,702
消耗品費	712,095	47,132	6,606	260,412	0	9,985	387,960
旅費交通費	168,336	22,000	0	140,436	2,100	3,800	0
諸謝金	1,043,000	136,000	0	877,000	30,000	0	0
保険料	30,780	0	0	23,850	0	0	6,930
賃借料	419,448	0	0	300	0	0	419,148
光熱水費	1,003,417	0	0	0	0	0	1,003,417
租税公課	3,500	0	0	0	0	0	3,500
雑費	110,482	44,558	216	56,147	2,625	3,048	3,888
事業費計	5,137,681	279,507	23,569	1,481,163	38,096	37,503	3,277,843
支出小計	16,664,240						
消費税及び地方消費税	622,722						
収支差額	△407,818						

## (参考) 施設管理の費用内訳

内容	科目	金額	備考
電話代	通信運搬費	176,295	
阪急緊急用専用回線使用料	通信運搬費	32,478	
インターネット利用料	通信運搬費	74,509	プロバイダ、ドメイン
郵便代	通信運搬費	420	
リース代	賃借料	419,148	複合機、大型プリンター、印刷機
コピー代	印刷費	182,477	
消耗品	消耗品費	387,960	
修繕費用	外注費	7,776	誘導灯のバッテリー交換
電気代	光熱水費	978,098	
水道代	光熱水費	25,319	
保険	保険代	6,930	賠償責任保険、自転車防犯登録
印紙代等	租税公課	3,500	印紙代、証明書代
清掃委託	外注費	262,980	
ごみ処理委託	外注費	16,225	
機械警備委託	外注費	207,360	
消防用設備保守点検	外注費	64,800	
空調設備保守点検	外注費	313,200	
自動扉保守点検	外注費	114,480	
振込手数料 (外注費他)	雑費	3,888	
合計		3,277,843	

## 6. 自主事業の実施状況

### (1) 全体活動

#### ①総会・理事会

当団体の組織運営のため、定款に基づき、総会、理事会を開催しました。総会は青年の家いぶきで6月29日(月)に開催し、その準備で施設を利用しました。理事会(または理事協議会)は月1回程度、施設の会議室を利用して行いました。

#### ②とよなか市民環境展 2015 の開催

豊中市内で活動する団体の発表の場として、子どもたちの環境学習の場として、市民が環境問題について知り・学ぶ場として、豊中市内で最大の環境イベントとなっています。

11月27日(金)・28日(土)に豊島体育館にて開催し、2日間で2,974人の来場者がありました。その開催に向けたプロジェクト会議や各チームの会議、出展団体説明会、環境展を紹介する展示などで施設を利用しました。

#### ③服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会

大阪府池田土木事務所、豊中市と協働で事務局運営を行い、地域の組織や団体が主体的に地域の環境づくりに関われるような取り組みを進めています。平成27年度も引き続き、協議会の今後の方向性も見据えつつ、天竺のはらっぱの活用などを進めました。施設では、協議会開催や打合せ場所として利用しました。

#### ④広報活動

「豊中アジェンダ21」についてより多くの人に知ってもらうため、ニュースレターの発行やホームページの運営、イベントでの展示、ケーブルテレビへの出演、ミニコミ誌やタウン誌への情報提供など、多様な情報媒体を利用して情報の発信を行いました。

施設ではニュースレターの発行に関する会議の場として利用するとともに、広報活動の場としてニュースレターの配布や当団体の活動をまとめた冊子の有料配布を行いました。

### (2) 生活部会

#### ①環境家計簿(エコライフカレンダー)をつけて地球環境を守ろう

豊中市民版環境家計簿(エコライフカレンダー)による省エネ型ライフスタイルの普及啓発を行いました。家庭での電気・ガス・水道・ガソリンなどのエネルギーの節減や無駄のない暮らしを考えるために、平成28年度の環境家計簿(エコライフカレンダー)を平成27年12月に作成し、豊中市民を対象に、各家庭での省エネ・効率的な利用の普及啓発を行い、温暖化防止の行動につなげました。

施設では、エコライフカレンダーの作成・分析・まとめ、およびエコライフカレンダーのモニターへ配布する「モニター倶楽部」発行作業の場として利用するとともに、希望する来場者に対してエコライフカレンダーを無料配布しました。

#### ②定例会の開催

定例会を月1回開催しており、施設を定例会の会場として利用しました。

### (3) 自然部会

#### ①自然を守る活動

豊中市内の残された自然を守るため、市内各地で保全活動に取り組んでいます。施設では保全活動に関する取りまとめや展示準備の場として利用しました。

#### ②その他

くらしかんをはじめとする、市内の他施設で豊中の自然や部会活動に関する展示などを行う際、準備作業で施設を利用しました。

また、野草研究家の森田育之さん（豊中に在住していた故人）の冊子や当団体が助成金事業で作成した「豊中自然探訪マップ」の有料配布を通して、豊中の自然に関する普及を行いました。

### (4) 事業部会

#### ①機密書類リサイクル

事業所や幼稚園などの参加を得て、それぞれから出る機密書類をまとめて製紙工場に持ち込み、トイレットペーパーへとリサイクルしています。

施設では、機密書類リサイクルの拠点として事業を PR するとともに、希望者には機密書類リサイクルでできたトイレットペーパーを有料配布しました。

### (5) 竹炭プロジェクト

#### ①竹炭製品の活用とイベント参加

新千里北町や千里中央公園で竹林を間伐し、間伐した竹を有効活用するために竹炭焼きを行っています。このように間伐した竹を活用してできた竹炭製品や、竹で作ったおもちゃなどを、施設で有料配布するとともに、豊中の竹の現状について PR しました。

### (6) 企画屋本舗

#### ①写真で元気に

まちや自然といった環境に関する写真を撮り、各自のアルバム作りを通して、自分自身や環境について見つめ・発見していく場を作る講座です。NPO 法人日本写真療法家協会と連携し、資材の提供やファシリテーターの派遣も受けながら、施設で講座を開催しました。

### (7) 花と緑のネットワーク

#### ①「とよっぴー」の利活用

豊中市が製造した土壌改良材「とよっぴー」を市民や農家の方に使ってもらうことで、食の資源循環に取り組んでいます。

施設では、「とよっぴー」のさらなる普及と利用者の拡大をめざして、これまでに 2.5kg のイベント用「とよっぴー」を常設し、希望者に有料配布しました。

#### ②とよっぴー祭りの開催

緑と食品のリサイクルプラザを会場に、10月に「とよっぴー祭り」を開催しました。

施設では、「とよっぴー祭り」の実行委員会などで利用しました。

#### ③定例会の開催

定例会を月1回開催しており、施設を定例会の会場として利用しました。

## **(8) 地球温暖化対策プロジェクト**

### ①「市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業」の実施

「豊中市市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業」を受託し、今年度も引き続き、豊中市と協力して省エネ支援システムやエコポイント制度の実施を行いました。施設では、事業の準備・まとめ、資料作成、省エネアクションコンテストの展示、省エネセミナーの会場として利用するとともに、事業全体の問合せ先としました。

### ②定例会

定例会を月1回開催しており、施設を定例会の会場として利用しました。

## **(9) あい・あいプロジェクト**

### ①定例会の開催

定例会を不定期に開催しており、施設を定例会の会場として利用しました。

## 7. 自主事業の経費の収支状況

### 平成 27 年度活動決算書（自主事業の経費分のみ）

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

(単位：円)

経常収益		
科目	金額	備考
受取寄付金	273,576	自主事業該当分
受取助成金	230,000	大阪湾フェニックスセンター等
受取負担金	1,078,000	自主事業該当分
受託事業	3,500,000	市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業
事業収益	110,250	有料配布等
雑収入	0	自主事業該当分
堆肥頒布受任	166,600	
経常収益計	5,358,426	
経常費用		
科目	金額	備考
賃金手当	1,943,490	自主事業充当分
外注費	729,000	
備品費	64,180	
図書費	5,854	
印刷費	545,790	
通信運搬費	156,933	
消耗品費	175,996	
旅費交通費	369,460	
諸謝金	479,000	
保険料	24,000	
賃借料	33,200	
租税公課	135,983	自主事業充当分の消費税等を含む
雑費	44,849	
堆肥頒布受任	154,259	
事業費計	2,918,504	
経常費用計	4,861,994	
差引	496,432	